

2020年2月7日
日本原子力発電株式会社
敦賀事業本部敦賀発電所

試運用フェーズ3実施後の振り返り
(チーム検査「放射線関連」)

今回、「放射線関連」に係る6つの検査ガイドの試運用を実施いただきました。
試運用への対応を通し、弊社としても規制庁殿の確認の視点や検査に必要な情報等への理解が進んだと考えております。

今回の試運用を踏まえた、当社としての意見は以下のとおりです。

- 事業者による現場対応が必要な事項について、前日に確認場所、確認の視点などを連絡いただくことにより、対応者の選出や業務調整をスムーズに行うことができました。また、検査による質問事項を用紙で頂くとともに、その趣旨を共有することにより、確実な対応に繋げることができたため、今後の検査においても同様な対応をして頂くようお願いしたい。
- 検査において、現場へは事業者がエスコートし、検査を通して現場での質疑がありました。対応者が長時間検査に拘束されるため、現地検査官とのフリーアクセスを基本としていただき、現場における事業者への質疑が必要な場合に限定していただけるようご検討をお願いしたい。
- 検査ガイドに基づき、セルフエアセットの装着を実施しましたが、検査に併せて装着状況の確認をされるのではなく、事業者の装着訓練に併せて日常検査にてご確認頂くようご検討をお願いしたい。

以 上